



星野俊路 (バンドネオン)



米阪隆広 (ギター)

『大大阪時代』

今から約 100 年前の大正から昭和初期、大阪は空前の繁栄を見せ、多くのモダンな建築が立ち並ぶ、東京を超える大都市に成長していました。

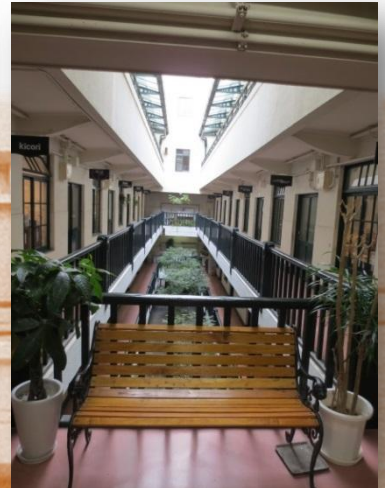
『タンゴ黄金時代』

奇しくも同時期、地球の裏側の大都市ブエノスアイレスで生まれたタンゴは世界で流行、タンゴの黄金時代が訪れようとしていました。はなやかなりし時代、ここ大阪でもダンスホールでタンゴを楽しんでいたモボ・モガがいたのかもしれない。

『船場ビルディング』

1925 年竣工、90 年の歴史を持ち、国の登録有形文化財にもなっているが、今も現役のテナントビルとして人々の行き交う船場ビルディング。その一角の著名な左官職人・久住有生氏の手による、不思議な空間「サロン・ドウ・螺」を舞台に、哀愁に満ちたバンドネオン・ギターの音色に耳を傾け、100 年の時の流れの中、失われゆくもの、受け継いでいくべきものに思いをはせてみるのはいかがでしょうか・・・

タンゴ・グレリオ in サロン・ドウ・螺 大阪 100 年の情熱



2016 年 **2** 月 **6** 日 (土) 開演 15:00 (開場 14:30)

¥3,000 (定員 20 名/要予約)

会場: サロン・ドウ・螺 (大阪市中央区淡路町 2-5-8 船場ビルディング 3F)

◆地下鉄御堂筋線「淀屋橋」「本町」/地下鉄堺筋線「北浜」「堺筋本町」いずれも徒歩 7~8 分

◆ チケット/お問合わせ (米阪ギター教室)

Tel : 072-743-6207 Mail : g_yone2007@yahoo.co.jp